

ほくたん^{だよ}便り

(お知らせ版)

2013 (平成25年) 11月発行

■ 編集／発行 : 北但行政事務組合

■ 組合構成市町 : 豊岡市・香美町・新温泉町

北但ごみ処理施設 整備・運営事業者が決定!!



▲完成イメージ図

DBO(設計・建設・運営)方式による「北但ごみ処理施設整備・運営事業」の総合評価一般競争入札を8月5日に行い、タクマグループ(株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス西日本支社、株本建設工業株式会社、株式会社川見建設、株式会社西山工務店)を落札者として決定しました。9月20日に仮契約を締結し、10月10日に開かれた第87回北但行政事務組合議会定例会において、北但ごみ処理施設整備・運営事業に関する契約の締結議案が可決されたことを受け、本契約を締結しました。平成28年3月の竣工を目指して、設計・建設を進めます。

北但行政事務組合とは

北但ごみ処理施設の設置および維持管理ならびに広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同して処理するため、豊岡市、香美町、新温泉町の北但1市2町で組織する一部事務組合です。

1市2町人口 122,801人(H25.10.1現在)



「ほくたん便り」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

北但ごみ処理施設整備・運営事業概要

- 1 事業名 北但ごみ処理施設整備・運営事業
- 2 事業場所 豊岡市竹野町 森本・坊岡 地内
- 3 契約金額 18,124,050,001円
(税込み) (内訳) 設計・建設 9,282,000,001円
運營業務 8,842,050,000円
※透明性を確保し、技術や提案内容による競争を促す観点から、予定価格および低入札価格調査基準価格を入札公告時に事前公表しました。
- 4 事業期間 設計・建設期間 : 平成25年10月11日～平成28年 3月31日
運 営 期 間 : 平成28年 4月 1日～平成48年 3月31日
- 5 事業方式 施設の設計、建設、運営を一括して民間事業者へ委託するDBO(デザイン:設計、ビルド:建設、オペレート:運営)方式を採用し、民間事業者のノウハウを最大限引き出すことで、万全な環境対策はもとより、効率的な事業運営や質の高いサービスの提供、コストの縮減を図ります。
- 6 事業者 【設計・建設企業】タクマ・株本・川見・西山特定建設工事共同企業体
<代表者> 株式会社 タクマ(尼崎市)
<構成員> 株本建設工業 株式会社(新温泉町)
株式会社 川見建設(豊岡市)
株式会社 西山工務店(香美町)
【運営企業】ほくたんハイトラスト 株式会社(豊岡市)
※株式会社タクマと株式会社タクマテクノスが運營業務を遂行するために設立した特別目的会社(SPC)です。
- 7 施設概要 (1)クリーンセンター
・処理方式:ストーカ方式(受入廃棄物:可燃ごみ、可燃残渣、乾燥汚泥、脱水汚泥)
・施設規模:71 t/24h × 2 炉 = 142 t/日
(2)リサイクルセンター
・施設規模:19 t/5h

落札者決定までの流れ

事業者の選定にあたっては、入札価格のほか、入札参加者がもつ高度な能力やノウハウ等の入札価格以外の要素を加えて総合的に評価し、落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用しました。

本年1月に入札公告を行い、3月には2グループから入札への参加表明を受け、事業者選定委員会において、施設整備の基本方針に基づき設定した7つの審査項目について提出された提案書等に対し、加點審査が行われました。

提案内容と入札価格を得点化したものの合計点が最も高かったタクマグループが、優秀提案者として選定され、事業者選定委員会の審査結果を踏まえ、組合が落札者として決定しました。

タクマグループから提出された提案内容は、【概要版】として、3～6ページに掲載しています。



▲第5回事業者選定委員会

7つの基本方針に沿った北但色豊かな施設整備・運営事業を実現



施設イメージ



施設遠景イメージ

※本イメージは提案時のものであり、今後の協議によって変わることがあります。

1 環境保全・公害防止対策に万全な施設

- 最適な処理技術を用いた運転管理にて、地域住民に安全安心を約束します。
- 万全の設備・運営対策により、安全かつ良好な処理作業環境を実現します。

—環境管理値—

- 1) 安全・安心を約束する運転管理
 - 要求水準の**公害防止基準より厳しい**自主保証値を設定
- 2) 汚泥受入・処理における悪臭・ガス対策
 - 汚泥専用の**受入室を設け**、汚泥由来の悪臭・有害ガスの発生エリアとプラットホームを分離
 - 汚泥臭気については、**ピット内を常時負圧に保ち**、プラットホーム内への漏洩を防止

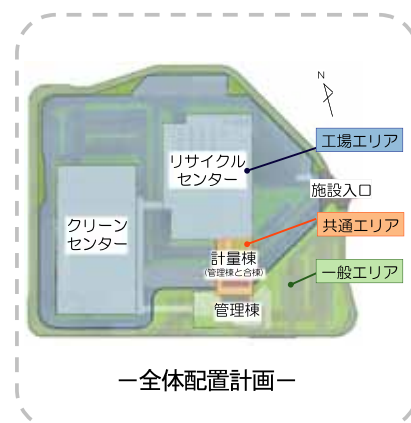
項目	単位	法規制値	要求水準書	自主保証値
ばいじん	g/m ³ _N	0.08	0.01	0.005
HCl	ppm	430	50	40
NO _x	ppm	250	50	45
SO _x	ppm	*約3200	30	28
CO(4h平均)	ppm	100	30	25
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ _N	1	0.05	0.03
水銀	mg/m ³ _N	—	—	0.05

*法規制値はK値：17.5であり、本計画では煙突高59m、排ガス量4,986m³/tであるため、約3,200ppmの値に相当します。

2 30年以上の稼働を見据えた安全かつ安定的に処理する施設

- 30年間に渡り、計画ごみ質・ごみ量を超える範囲においても、安定した処理をおこないます。
- 豊富な実績に基づき、高水準のリスク管理をおこないます。
- 搬入車両の安全性と利便性を高めた施設配置・動線計画をおこないます。
- 安心・安全な施設の長寿命化を実現します。

- 1) ごみ質・ごみ量の変動に強い設備
 - 運転計画の最適化により、**長期的なごみ量変動にも対応可能**
 - ストーカ炉での**豊富な汚泥混焼実績**で培ったノウハウを活かし、安定した汚泥混焼を実現
- 2) 安心のリスク管理体制
 - 構成企業の豊富な実績事例、第三者機関の知見に基づく高水準のリスク管理
- 3) 安全性と機能性を両立した車両動線
 - 「工場エリア」と「一般エリア」を**完全に分離**し、機能性と安全性に配慮
- 4) 長期安定稼働を実現
 - **主要機器を高耐久性**とすることで安定稼働の継続と費用縮減を実現



—全体配置計画—

3 廃棄物の資源化を図り、循環型社会の形成に資する施設

- 省エネルギー効果を最大化する施設の整備・運営を実現します。
- 豊富な実績に基づく技術の導入と工夫により、焼却主灰・飛灰量を削減します。

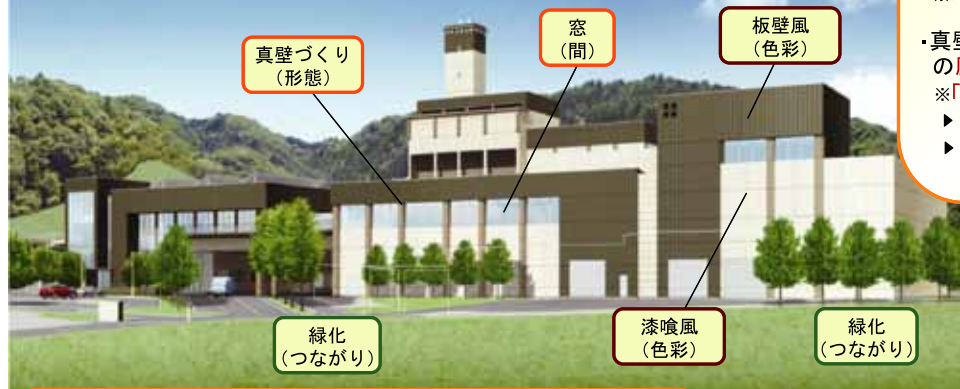
- 1) 省エネルギー効果を最大化する施設
 - 1 炉運転時においても買電量ゼロを実現
 - 最先端の省エネルギー設備を導入し、消費電力量を従来比約 18%削減
 - 省エネを推進する省エネ委員会を設置し、改善策を検討し、さらなる省エネ・省資源活動を実施
- 2) 自然エネルギーの積極的導入
 - 環境学習拠点である管理棟には、自然エネルギーを積極的に導入
- 3) 最終処分量の削減に貢献
 - 燃焼効率の優れた階段式ストーカの採用により、焼却主灰量を削減



—自然エネルギーの導入—

4 周辺環境と調和した施設

- “自然と共生する、豊かな北但風景”を未来へと継承するため、現存する周辺環境と調和した、北但色豊かな施設を提案します。
- 里山風景との調和をはかるため、伝統的な里山・家屋の形態や色彩を取り入れた、自然美と伝統美あふれる意匠デザイン



■伝統的な家屋の形態を取り入れたデザイン

- ・周辺地域の伝統的な家屋に見られる「真壁づくり」の形態を取り入れ、北但らしい伝統的な景観美を演出します。
※「真壁」: 柱を露出させた壁の形状
- ・真壁づくりの「分節効果」により、施設の圧迫感を低減します。
※「分節効果」:
▶ 柱と壁による凹凸感(陰影)を創出
▶ 板壁と真壁の間を窓でつなぎ、間を創出



■緑に囲まれた統一感のあるデザイン

- ・施設正面を「施設と自然への玄関口」としてとらえ、管理棟、計量棟、工場棟を一体とした統一感のあるデザインと、施設正面の緑化により、自然と一体化した開放感のある空間を創出します。

■地域の色合いを取り入れた色彩デザイン

- ・周辺地域の伝統的な家屋の色合い(板壁、漆喰)や自然の色合い(アースカラー)を取り入れ、親しみや懐かしさを感じさせる情景を創出します。

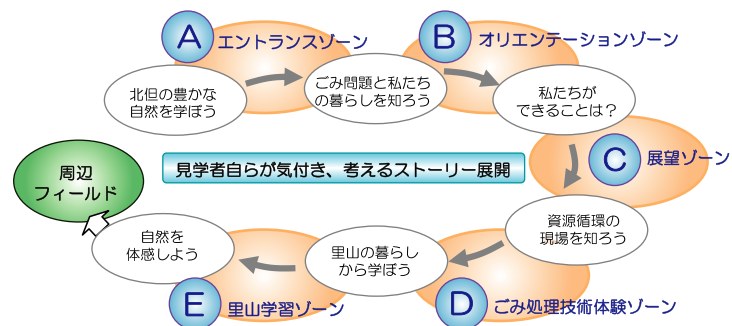
5

住民から信頼される施設

- 施設的环境保全状況を確実に把握し、組合・住民・事業者で情報を共有・協議する仕組みを構築します。
 - さまざまな避難拠点機能を充実させ、災害への不安を安心に変える施設を目指します。
 - 自然と人との共生・共存の大切さを学ぶ見学施設を整備します。
- 1) 安心で信頼性の高い環境管理体制
 - 事業期間中は**要求水準を上回る測定項目**と**関係法令規定の測定回数を上回る環境管理**による信頼性向上
 - **組合・地元住民との情報共有体制の確立**により安心と信頼を提供
 - 2) 災害時の避難拠点機能
 - 避難所となる「居住空間」の確保とライフラインとして不可欠な「電気」、「水」、「通信機能」の自立供給
 - 災害発生時には、**森本・坊岡地区住民が避難できるスペース**ならびに**災害備蓄品として生活必要物資 10 日分**を確保
 - 3) 見学者用スペースならびに設備
 - 「**資源と環境の大切さ**」を学べる**ストーリー性を持った動線と展示・啓発設備**を整備
 - 見学者動線は、**完全にフラットなバリアフリー**とすることで高齢者や身障者にも優しい**ユニバーサル動線**を実現



—避難拠点機能—



—見学者諸室とストーリー展開—

6

経済性に優れた施設

- 地域に暮らす住民と障がい者に配慮した就労機会と就労環境を創出します。
 - 北但の産業力を最大限発揮できるよう、地域との協力・連携体制を構築し、地域の更なる活性化に貢献します
 - 最新鋭の設備やシステムの導入と運転計画の最適化により、年間発電量の最大化を実現します。
 - 幅広いごみ質・ごみ量変動に対して、経済性の高い施設運営を目指します。
- 1) 積極的な地元人材活用
 - 運営期3年経過後、**地域住民雇用率 100%**を達成
 - **障がい者雇用の最大化**を図ると共に、障がい者の業務習得と自立を支援
 - 2) 地域経済・文化活性化への貢献
 - **1市2町の商工会等との連携**により、発注情報を地元企業に伝達できるシステムを構築
 - 地元発注想定金額、建設・運営（雇用を含む）合わせて**90億円超**
 - **地域の一員**として、祭りや清掃活動等、地域活動へ積極的に参加し、地域交流および地域文化振興活性化に貢献
 - 3) 売電収入の最大化
 - 最新鋭の設備やシステムを導入し、**要求水準の発電効率 1.4%に対し、20%**（※設計基準条件時）を実現

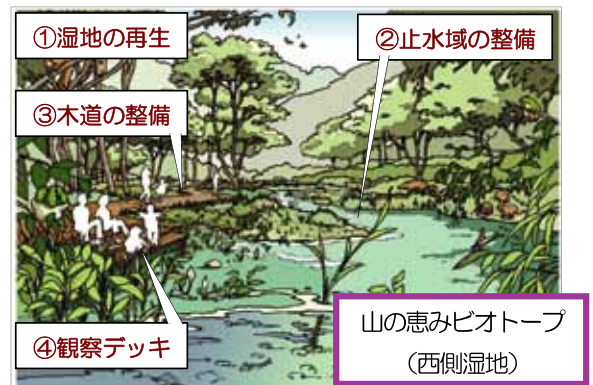
- 施設周辺の自然と触れ合える場を整備し、周辺地域の皆様と育てていくことで、豊かな自然と命の大切さを学ぶ場を提供します。

1) 周辺整備計画

- 20年後を見据え、**自然の時間に合わせながら**、美しい里山林を地域の方々と共に育成
- 自然との共存・共生や資源循環と環境保全について考える体験と交流の場



一周辺整備計画全体図一



2) 資源循環と環境保全を学ぶ啓発機能

- **里山の資源循環の知恵を学ぶ**体験プログラムを提案

3) イベント支援体制

- 事業期間終了後に、地域住民が主体となってイベントを運営することを見据えたイベント運営支援
- 見学プログラムの作成にあたり、**専門家の意見**も取り入れます。

北但ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会の開催状況

第6回委員会(H25.8.5開催)

2グループへのヒアリング、加点審査、開札立会い、優秀提案者の選定を行っていただき、タクマグループを優秀提案者として選定したことを、寺嶋委員長から中具管理者に報告していただきました。

第7回委員会(H25.9.2開催)

審査講評について審議いただき、事業者選定委員会は第7回で所管する事務を完了されました。

委員の皆様には、事業者選定についてご尽力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

なお、審査講評については、組合ホームページに掲載しています。



▲寺嶋委員長が優秀提案者を中具管理者に報告



▲豊岡市新議場での議会の様子

◇第87回組合議会定例会

(平成25年10月2日～10日)

施設整備・運営事業に関する契約、補正予算を可決、24年度決算を認定

北但ごみ処理施設整備・運営事業に関する契約の締結、平成25年度一般会計補正予算第1号、平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定について提案し、原案のとおり可決、認定されました。

豊岡市役所新庁舎の完成に伴い、今期定例会以降、組合議会は豊岡市の新議場で開催することになりました。

進入道路・敷地造成工事の進捗状況

敷地造成部では、切土、盛土、擁壁工の作業を、進入道路部では、法面掘削、法枠、アンカー工、補強土壁工を行っています。

▶ 敷地造成部全景



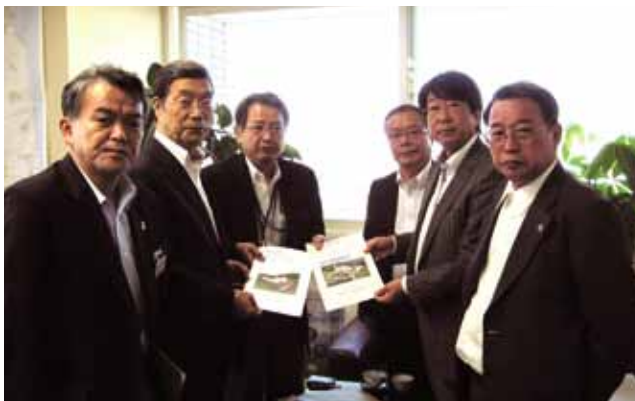
◀ 進入道路部の作業状況
(法面部の岩掘削)



環境省に交付金の満額支給を要望

平成25年9月27日、中具管理者、浜上副管理者、岡本副管理者の3人は、環境省を訪れ、環境省廃棄物・リサイクル対策部の梶原部長と面会し、施設整備のための循環型社会形成推進交付金の満額支給を求める要望書を提出しました。

今年度の交付金内示額は、国の財政上の都合から要望額の64%となっており、来年度以降も減額が予想されることから、着実な事業推進に向けた財源確保のため、交付金の満額支給を要望したものです。



▲正副管理者が環境省に要望書を提出

どんぐりプロジェクト

▶
すくすくと育つ苗木(中竹野小学校)



施設周辺の豊かな自然環境を保全し、荒廃した森林・里山を再生する取り組みの一環として、竹野町内の3小学校に協力いただいているプロジェクトです。

平成23年と24年の秋にまかれた「コナラ、ミズナラ、スダジイ」などの種が、それぞれ翌春に芽を出し、すくすくと育っています。

これらの苗木は、平成26年度から順次、施設周辺に植樹され、工事により開発された土地(森林)をみどり豊かな森林へと戻していきます。

平成26・27年度 北但行政事務組合入札参加資格審査 申請書の受け付けについて

平成26・27年度の北但行政事務組合入札参加資格審査申請書の受付期間は、平成26年2月10日～3月10日までです。

なお、提出要領・申請書様式等については、平成26年1月上旬ごろ、組合ホームページに掲載する予定です。

◎事務所を移転しました

豊岡市役所新庁舎完成に伴い、当組合は同市役所内に事務所を移転しましたので、お知らせします。なお、電話番号・ファックス番号等については、従前のとおり変更ありません。

【移転日】平成25年8月19日(月)

【新住所】豊岡市中央町2番4号(豊岡市役所4階)

ホームページを開設しています

北但行政事務組合では、ホームページを開設し、これまでの取り組みや工事の進捗状況などを公開しています。下記のURL(ホームページアドレス)をご覧ください。

URL <http://www.hokutan.jp/>

